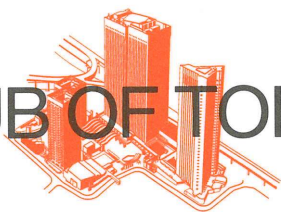




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】10月11日 第766回例会

◎卓話「元米山奨学生の現在」

元米山奨学生(1993～94年、ホストクラブ・東京駒場RC)
慈溪豊和草業発展有限公司 取締役 東京駐在員

楊 麗 美 氏

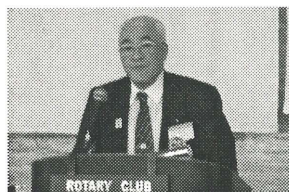
【先週報告】10月3日(木) 第765回例会

第2750地区松崎勝一ガバナー公式訪問

東京南・東京新南合同例会〔会場／東京會館〕

◎卓話「公式訪問に際して」

第2750地区ガバナー 松崎 勝一氏
(東京駒場RC)



南クラブは、51年の歴史を持つ最も伝統のあるクラブで、クラブ運営が大変重みをもって行われていることを感じました。ただガバナーの立場からすると南クラブからガバナーやガバナー補佐をもっと出していただき、地区に力を貸して欲しいという思いがいたしました。

新南クラブは、昨年15周年を迎えられて、会員増強にも力をいれ、活発に活動しておられます。これから益々発展されるクラブだと思いました。両クラブとも都心のクラブで、国際性が期待されています。昨年は南の上条さんが、今年は新南の石坂さんが地区の国際奉仕委員長を引き受けてくださり、特別なご協力をいただいています。ロータリーは、国際奉仕で様々な活動していますが、職業奉仕としての日常的な活動も大切にしていきたい。職業奉仕は、会員一人一人が毎日心掛けて努力して行く地道なテーマです。

ロータリーは、クラブに主体性があります。現在162ないし163の国に約3万のクラブがありますが、それが国際ロータリーのメンバーです。会長一人ではとてもお世話しきれないので、530の地区に区切り地区にガバナーを配置して、会長の方針や年次テーマに沿って、530分の1を分担して会長を補佐しています。ロータリー財団では様々なプログラムを開発し、活発な活動を行っていますが、財団は、社会奉仕、国際奉仕が特化したものだと思います。教育的プログラム、人道的プログラム、文化的プログラムという3つの柱をもって、皆さんの協力で得た資金のもとで活動しています。財団への協力もお願いしなければなりません。

今年度の国際ロータリーの方針とテーマについては、PETSや地区協議会で説明し、「ガバナー月信」にも書きました。私は、ロータリー活動を支える会員、資金、情報という3つの要素の中で、情報が大切だと考えています。それで初めての試みだと思いましたが、私が地区のロータリー情報委員長を兼務しました。ロータリーとはなにか、なぜロータリーに入っているのか。そういうロータリーの基本を新しい人達に伝える手段として、「月信」を復活しました。

RI会長ラタクルさんは、仏教徒で、タイの外務大臣、副首相、下院議長を歴任した人です。何度かスピーチを聞きましたが、大変立派な方です。来年4月20日、21日に東京に来ます。そのため地区大会の日取りを4月20日、21日に変えました。21日に新高輪プリンスホテルで、ラタクル会長が1時間スピーチをしますので、是非聞いてください。

私は、ラタクル会長のスピーチを聞いて、昨年と今年がこんなに違うのかという思いにかられました。昨年のキング会長の活動の仕方はトップダウンでした。会員増強、活動資金の確保をものすごく強調しました。1クラブ年間12名の増強、全世界で35万人、100周年を迎える2005年には会員数を150万人にするという目標をかかげました。その結果1年間に全世界で6、7万人入会しました。4万人くらい辞めたので、純増は3万人でした。

ロータリーは単年度制ですから1年で変わります。ラタクル会長は、最近のロータリーのアイデアやプログラムはロータリーの発展に役立っていない。歩みを止めてでも4大奉仕を蘇らせてほしい。「足跡を忘れた牛は、行き先を見失う」。温故知新ということですが、ロータリアン一人一人が活動する。この基本を忘れないで、ボトムアップで決めて欲しい。それが組織を強化し、信望を高める。会員が120万ではだめで、150万人でなければならないということはない。質を高めれば会員は増える。これがラタクル会長の考え方です。昨年とは180度違います。9月11日の同時多発テロもあり、世界は愛に飢えています。「慈愛の種を蒔きましょう」というテーマが発表されたとき、アナハイムでは拍手が鳴り止みませんでした。

昨年は、ロータリーを巨大な組織にして力で貢献しようとする動きが目立ちました。それがいいのか。基本に戻り地味な歩みをするのか。キング前会長は、ゴルバチョフ財団に多額の寄付をしました。キング前会長の個人的なプレーですがRIの理事会が了解しました。私は、金銭の寄付だけでなく、地域に密着した活動によって、自分の人生にロータリーを刻

んで欲しいと思います。ロータリーは宗教団体でも政治団体でもありません。親睦と奉仕の活動の積み重ねで、今日があります。ロータリーの基本は4大奉仕ですが、金を集めてどんどん寄付して、集団としての威力を示すことが大切だと考えている人もいます。どちらを選ぶか、それは規定審議会で決めることですが、今ロータリーに問われている路線問題を考えていただきたいと思い、私の考えを率直に申しあげました。

(まとめ 大川方)



◎出席報告

会員68名／出席36名・欠席32名（出席規定免除者7名）



10月3日／5件 38,000円

2002～2003年度累計 475,000円

多額の御寄付を有難うございました。

東京南RC 田中会長／大島副会長／中園幹事／瀬山親睦委員長／大西SAA／合同例会を祝って。武下 朗／本日は南の皆様にお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。藤後 幸生／初の合同例会参加に喜びを感じてます。高須 康有／松崎ガバナー公式訪問を祝して。東京南クラブの皆様大変お世話になります。岩上 義明／初めてのニコニコ担当です。宜しくお願い致します。

10月 火曜会報告

10月1日、夕刻、台風21号が関東地方直撃の予報にも拘らず、14名の“嵐を呼ぶ男”が集まり、定刻通り「ロータリーで感動した事」のテーマで、西澤会員の絶妙な司会で始まった。パネラーの荒木会員から、12年のロータリー歴の中で、まず第一に挙げたのは、「アイメイト3号・高橋雅枝さん」の1999年7月23日の歩行訓練、アイメイト協会見学会で体験した感動が熱のこもったお話でされた。まさに人犬一体となつての真夏の四ヶ月間、しかも最後は都会の灼熱したアスファルト（銀座）で特訓し、人と犬との信頼関係に眼が潤み、大いなる感激を得たとの事。二点目は、入会間もない頃、先輩会員から、少人数のクラブとして地区大会のホストクラブをした苦労話をよく聞かされたが、一体感を持って成し遂げた先輩会員をはじめ、頼りになる仲間を発見できた事、素晴らしい友人を得られた事等々、含蓄のあるスピーチであった。

二人目のパネラーとして、入会一年半の尾上会員から、JC仲間の岩上さんから勧められて入会した経緯から始まった。近年、あまり感動した事が無かったが、ロータリーに入会して、会員の気配りには感動した。格調が高く、特に「例会」は袴を着ているようで、自己修練の場だが、「火曜会」は本音で忌憚の無い意見が述べられ、ウスバカゲロウになったようでとても楽しいと比較的真面目なトーンであった。

久しぶりに参加した川鍋会員からは、若しロータリーに入っていないならば、アイメイト、泉の家、忘年家族会、旅行等で数々の思い出、ふれあいも無く、ちまちまとテニスをしていて沢山の感動は得られなかったであろうと。最後にミスター火曜会の河原会員からロータリーに長くいられるのは、感動する人に逢えたので続いている、と今日のテーマに相応しい言葉で締めくくった。台風上陸のため二次会の取りやめに、

◎卓話 「がん治療の最前線」 (9月27日例会)

当クラブ会員 赤坂病院 院長 小湊 雅亮

最近、新聞広告や週刊誌などに末期がんからの生還とか、医者に見放されたがん患者の奇蹟の復活などの記事が目立つのにお気付きの方も多いと思う。この説を否定する医師も多いが、実は評価はまちまちなのである。この機会に、このさまざまな情報を少し整理してお話をしようと思う。

外科的療法、化学療法、放射線療法の3つが、がん治療の三種の神器として現在も行われている根幹的治療法であるが、この三種の神器にも変化が生じてきた。

外科手術の分野では、患者さんの苦痛を出来る限り軽くする、人に優しい手術法の開発がされてきている。一例が、胃カメラや大腸ファイバースコープによる、胃や大腸のポリープや早期癌の摘出術である。又、腹腔鏡による胆石の手術は有名である。

次に化学療法も変化してきている。抗がん剤の全身投与法に対し、肝臓などの標的臓器に動脈注射により直接に薬液を注入する、直達療法が種々の改良を経て良い成績を挙げつつある。

放射線療法の発達も素晴らしい。早期の食道がんや特に喉頭がんに対しては、手術なしで完治させる症例が増え、これと化学療法との併用で更に治癒率の向上に効果を挙げているのは刮目に値する。

最近、更に脚光を浴びつつある治療法がある。

1. 遺伝子治療

障害のある細胞に正常な遺伝子を導入することにより障害を補正する方法で、組換え遺伝子や癌抑制遺伝子の導入による治療法である。しかし、臨床応用に至るまでの道のりは遠い。

2. 癌の化学予防

ビタミンAの前駆物質のレチノイドは頭頸部癌に、タモキシフェンというホルモンは乳癌の発生予防薬としてすでに実際に使用されている。しかし、発癌の予防は極めて困難であると言わざるを得ない。

3. 癌の休火山療法

すでに発生した微小癌を、長期間、微小癌のままで発育させない方法で、新しい療法として注目を浴びてきている。

4. サプリメントについて

リンパ球療法や抗腫瘍免疫剤以外の免疫療法で、最近話題の民間療法や栄養食品などを総称してサプリメントと呼ぶ。賛否両論あつて、アガリクス、メシマコブなどの担子菌類が最も流行し、本文の冒頭に述べたブームが起こっているのである。私は確かに有効なものもあるという経験もしているが…。

名残惜しさもあったが、三々五々に家路に着いた？(小杉(眞) 記)
出席者14名 (敬称略、順不同) 河原、西澤、吉田 (用)、吉岡、庄司、尾上、圓谷、川鍋、福島、岩上、荒木、入沢、清原、小杉 (眞)

【次週予告】10月18日 第767回例会

◎卓話予定

「ドロボーの実体と防犯対策」

美和ロッキ株式会社 顧問

稲 田 淳 夫 氏

東京新南ロータリークラブ (http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth)

〔会長〕吉田用親 〔副会長〕小杉修造 〔幹事〕吉岡琢磨

〔会報委員長〕圓谷正和 〔今週の担当〕高須康有

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111